

IV 研究活動

鎌田助教授	イスラム学	イスラム史概説
(2) 教養学部		
原助教授	教養学科	東南アジアの経済
松谷教授	教養学科	先史時代の世界史
板垣教授	総合科目	アラブの心
関本助教授	教養学科	社会の構造, 民族誌
猪口助教授	教養学科	政治学理論
猪口助教授	一般教育	政治学
(3) 農学部		
山田教授	農業経済	国際農業論
原助教授	農業経済	比較農業
(4) 全学一般教育ゼミナール		
濱下助教授	第1・3学期	近代中国と香港
友杉教授	第2・4学期	東南アジアの都市と農村

〔昭和63年度〕

1. 大学院

(氏名)	(専門課程)	(講義題目)
(1) 人文科学研究科		
尾上教授	中国語中国文学	説唱文学研究
田仲教授	中国語中国文学	西廂記
斯波教授	東洋史学	宋代社会経済史研究
池田教授	東洋史学	唐六典研究
濱下助教授	東洋史学	中国近代経済史研究
松丸教授	東洋史学・中国哲学	殷周青銅器銘文研究
宮嶋助教授	東洋史学	近代朝鮮経済史研究
山崎教授	東洋史学	インド法制史研究

蜂屋教授	中国哲学	東晋時代の思想
鎌田教授	印度哲学印度文学	中国仏教文献講読
上村助教授	印度哲学印度文学	サンスクリット文学講読
板垣教授	宗教学宗教史学(イスラム学)	現代イスラムをめぐる諸問題
鎌田助教授	宗教学宗教史学(イスラム学)	イスラム思想文献研究
後藤教授	宗教学宗教史学(イスラム学)	ムハンマド伝の研究
戸田教授・小川助教授	美術史学	東洋美術史演習
小川助教授	美術史学	中国画史講読
(2) 法学政治学研究科		
猪口助教授	政治学	日本の政治・東アジアの政治
鈴木助教授	政治学	中東政治変動論研究
(3) 経済学研究科		
加納助教授	経済史学	経済史専攻指導
柳澤助教授	応用経済学	インド経済論
(4) 総合文化研究科		
関本助教授	文化人類学	民族誌の方法
松谷教授	地域文化研究	メソポタミア先史学
板垣教授	地域文化研究	アジア地域文化構造論演習他
後藤教授	地域文化研究	現代イスラム論他
(5) 理学系研究科		
友杉教授	地理学	地誌研究・地誌学演習
(6) 農学系研究科		
山田教授	農業経済学	国際農業論特殊研究
原助教授	農業経済学	国際農業論

IV 研究活動

2. 学部

(氏名) (学 科) (講義題目)

(1) 文学部

戸田教授	美術史学	中国絵画史研究
後藤教授	東洋史学	東洋史学特殊講義
後藤教授	イスラム学	イスラム学特殊講義

(2) 経済学部

柳澤助教授	経済学	低開発経済
-------	-----	-------

(3) 教養学部

関本助教授	教養学科	文化人類学
原助教授	教養学科	東南アジアの経済
後藤教授	教養学科第2	アジアの政治変動
松谷教授	教養学科	先史時代の世界史
猪口助教授	教養学科	政治学理論
猪口助教授	総合科目	政治学

(4) 理学部

友杉教授	地理学	地理学特別講義II
------	-----	-----------

(5) 農学部

山田教授	農業経済	国際農業論
原助教授	農業経済	比較農業

(6) 全学一般教育ゼミナール

小川助教授	第1・3学期	中国の山水画
-------	--------	--------

F 外国出張（昭和61・62年度）

氏名	出張先	期間	目的
原 洋之介	ビルマ	61. 4. 6～61. 4. 10	ビルマの経済発展計画に関する調査
原 洋之介	インドネシア	61. 5. 6～61. 5. 12	農業経済に関する科学者交流フレームの計画調査
中根 千枝	中華人民共和国	61. 5. 15～61. 5. 30	社会人類学に関する調査研究
上田 信	中華人民共和国	61. 5. 18～61. 6. 16	太平天国135周年記念シンポジウム出席及び中国社会史に関する調査研究
土佐 弘之	オーストラリア, ニュージーランド, インドネシア, シンガポール	61. 5. 25～62. 3. 15	南太平洋地域の比較政治経済に関する調査研究
久保 亨	中華人民共和国	61. 5. 26～61. 6. 2	中華民国時代の社会経済史に関する調査研究
濱下 武志	中華人民共和国, 香港	61. 6. 9～61. 6. 29	「アジア・太平洋地域の発展と21世紀に向かう中日関係」シンポジウム出席
猪口 孝	オーストラリア	61. 7. 19～61. 10. 1	アジア太平洋地域における日本の役割に関する研究
原 洋之介	インドネシア	61. 7. 24～61. 8. 7	インドネシアの農村人口と農業開発に関する調査
鎌田 茂雄	大韓民国	61. 7. 27～61. 8. 1	国際仏教学術会議出席
加納 啓良	オランダ, スイス, 連合王国	61. 7. 27～62. 6. 26	植民地支配期東南アジア経済史の調査研究
池田 温	中国（台湾）	61. 7. 31～61. 8. 3	敦煌学国際研究会出席
中根 千枝	フィンランド, 連合王国	61. 8. 2～61. 8. 15	「伝統社会における開発と技術移転に関する研究方法」会議出席

IV 研究活動

池田 温	中華人民共和国, ソビエト連邦, 連 合王国	61. 8. 8 ~ 61. 10. 7	中国古代中世史研究
山崎 利男	連合王国	61. 8. 16 ~ 61. 8. 30	現代イギリスにおけるイ ンド人移民社会の総合的 研究
松井 透	連合王国	61. 8. 16 ~ 61. 9. 27	現代イギリスにおけるイ ンド人移民社会の総合的 研究
山田 三郎	マラウイ, ケニア	61. 8. 18 ~ 61. 9. 7	マラウイにおける農林水 産業の動向と問題点に関 する調査
鎌田 茂雄	中華人民共和国	61. 8. 25 ~ 61. 9. 4	中国仏教に関する調査研 究
板垣 雄三	ベラウ (パラオ), フィリピン, 中国 (台湾)	61. 8. 19 ~ 61. 9. 5	社会変動に関するアジア ・太平洋地域と中東との 連関構造の考察
原 洋之介	インド	61. 8. 29 ~ 61. 9. 14	経済開発と経済成長に関 する調査研究
上村 勝彦	中華人民共和国	61. 8. 30 ~ 61. 9. 10	中国仏教美術に関する調 査研究
大木 康	中華人民共和国	61. 10. 7 ~ 61. 10. 27	中国の伝統芸能に関する 調査研究
濱下 武志	中華人民共和国, 香港	61. 10. 20 ~ 61. 11. 23	孫文研究会議出席及び中 国経済史に関する資料収 集
原 洋之介	インド	61. 11. 1 ~ 61. 11. 11	インドにおける農業経済 の現状調査
川崎 有三	中華人民共和国	61. 11. 1 ~ 62. 2. 28	19世紀以降の福建・広東 地域に見られる風俗・習 慣の歴史的研究
谷 豊信	大韓民国	61. 11. 7 ~ 61. 11. 19	韓国所在楽浪郡関係の考 古資料の調査研究
田仲 一成	中華人民共和国, 香港	61. 11. 9 ~ 61. 12. 5	広東省農村演劇に関する 調査研究
久保 亨	中華人民共和国	61. 11. 20 ~ 61. 11. 25	近代中国経済史に関する 資料収集及び討論
原 洋之介	大韓民国	61. 11. 23 ~ 61. 11. 28	日韓経済発展比較研究会 議出席

中根 千枝	インド	61. 11. 30~61. 12. 28	チベット系民族とイスラムの隣接地域にみられる社会・文化の研究
友杉 孝	スリランカ, フィリピン, ブルネイ, インドネシア, タイ	61. 12. 10~62. 3. 5	東南アジアにおける地方都市社会の研究
尾上 兼英	中華人民共和国, 香港	61. 12. 18~61. 12. 23	中国小説資料に関する調査
池田 温	中国(台湾)	61. 12. 27~61. 12. 31	国際漢学会議及び唐代研究学者聯誼会出席
田仲 一成	香港	62. 1. 27~62. 2. 3	香港新界農村祭祀に関する調査研究
田仲 一成	香港	62. 2. 11~62. 2. 28	香港新界農村祭祀に関する調査研究
原 洋之介	タイ	62. 2. 21~62. 2. 25	「第三回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議」出席
猪口 孝	中華人民共和国, 香港	62. 3. 12~62. 4. 10	中国の経済政策と対外政策に関する調査研究
宮嶋 博史	大韓民国	62. 3. 17~62. 10. 16	「韓国における農業水利開発史の研究」実施
鎌田 繁	エジプト, イラン	62. 3. 20~62. 4. 14	西アジアのイスラムに関する調査研究
原 洋之介	アメリカ合衆国	62. 3. 27~62. 4. 4	日韓経済発展比較研究最終会議出席
濱下 武志	中華人民共和国, 香港	62. 4. 21~62. 5. 17	中国対外経済史関係国際会議出席及び中国経済史に関する資料収集
大木 康	中華人民共和国	62. 4. 21~62. 5. 25	馮夢龍学術討論会出席及び伝統芸能に関する調査研究
板垣 雄三	イラク	62. 4. 22~62. 5. 6	現代中東政治・社会変動の機構に関する調査研究
松谷 敏雄	シリア	62. 4. 24~62. 9. 25	西アジア先史遺跡調査(第1次)
松丸 道雄	中華人民共和国	62. 5. 23~62. 5. 30	日中研究者による郭沫若に関する共同研究

IV 研究活動

池田 温	香港	62. 6. 23～62. 6. 27	郭煌吐魯番学国際討論会出席
板垣 雄三	イスラエル, エジプト	62. 6. 27～62. 7. 15	「イスラム世界の宝石・金細工」国際シンポジウム出席及びエルサレム問題に関する調査研究
鎌田 茂雄	中華人民共和国	62. 7. 19～62. 7. 27	中国仏教に関する調査研究
小島 毅	ドイツ連邦共和国, オランダ, ベルギー, 連合王国, アメリカ合衆国	62. 7. 27～62. 8. 27	米国歴史学会太平洋岸支部年次総会出席及び中国政治史に関する調査研究
猪口 孝	ドイツ連邦共和国	62. 7. 29～62. 8. 11	「21世紀の技術の競争と相互依存」シンポジウム出席
濱下 武志	中華人民共和国, 大韓民国, 中国(台湾)	62. 7. 31～62. 9. 4	自強運動史研究国際会議出席及び中国近・現代資料の収集
川崎 有三	中華人民共和国	62. 8. 3～62. 10. 12	漢族ならびにその隣接少数民族のコミュニティの研究
田仲 一成	中国(台湾)	62. 8. 5～62. 8. 12	明代戯曲小説国際研究会会議出席及び演劇史に関する資料収集
原 洋之介	インド, ネパール	62. 8. 7～62. 9. 15	南アジア天水田地帯における地域生態系構造の環境計画学的研究
谷 豊信	大韓民国	62. 8. 7～62. 8. 11	韓国国立博物館所蔵の考古学資料の調査
鎌田 茂雄	朝鮮民主主義人民共和国	62. 8. 10～62. 8. 21	朝鮮仏教に関する調査研究
斯波 義信	アメリカ合衆国	62. 8. 16～62. 8. 21	第2回日米歴史学研究会会議出席
友杉 孝	連合王国	62. 8. 21～62. 9. 11	英国地方都市の景観論的研究及びスリランカ関係資料の調査
関本 照夫	マレーシア	62. 8. 22～62. 9. 30	マレーシア農村部における社会変動と文化変容に関する調査研究

田仲 一成	中華人民共和国, 香港	62. 8. 25~62. 9. 27	福建・広東地方劇に関する調査研究
鎌田 茂雄	中華人民共和国	62. 9. 1~62. 9. 13	中国仏教に関する調査研究
松丸 道雄	中華人民共和国	62. 9. 6~62. 9. 27	「中国殷商文化国際討論会」出席及び中国考古学に関する調査研究
谷 豊信	中華人民共和国	62. 9. 6~62. 9. 30	「中国殷商文化国際討論会」出席及び中国考古学に関する調査研究
板垣 雄三	中華人民共和国	62. 9. 8~62. 9. 18	中央党学校における学術交流及び少数民族問題に関する調査研究
山田 三郎	マレーシア	62. 9. 13~62. 9. 23	農業生産性測定及び分析事業に関する調査
加納 啓良	インドネシア, オランダ, マレーシア, シンガポール	62. 9. 25~63. 9. 24	インドネシア農村経済に関する
土佐 弘之	シンガポール, マレーシア, ネパール, タイ	62. 9. 26~62. 10. 15	地域レベルでの開発と政治の現状に関する調査
山田 三郎	フィリピン	62. 10. 5~62. 10. 23	農業生産性測定及び分析事業に関する調査
原 洋之介	フィリピン	62. 10. 5~62. 10. 13	アジア諸国からの労働力流出に関する調査研究
鎌田 茂雄	中華人民共和国	62. 10. 6~62. 10. 11	日中仏教学術会議に出席
濱下 武志	中華人民共和国, 香港	62. 10. 7~62. 10. 25	日中比較文化シンポジウム出席及び経済史資料収集
蜂屋 邦夫	中華人民共和国	62. 10. 16~62. 12. 5	中国文化に占める道教の位置と現状についての総合的調査・研究
後藤 明	ヨルダン, タイ	62. 10. 22~62. 11. 2	「第4回シリアの地理歴史国際研究集会」出席及びイスラーム研究に関する調査
猪口 孝	連合王国, フランス, ドイツ連邦共和国	62. 10. 26~62. 11. 8	第9回日欧会議, 日欧セミナー・シリーズ及び国際戦略問題研究所サセックス会議出席

IV 研究活動

鎌田 茂雄	大韓民国	62. 10. 31～62. 11. 4	韓国仏教の調査研究
原 洋之介	インドネシア	62. 11. 22～62. 11. 29	インドネシアの農業開発に関する調査研究
板垣 雄三	イラク	62. 11. 23～62. 12. 2	第8回マルビド詩祭出席
小島 毅	中華人民共和国, 香港	62. 11. 23～62. 12. 6	国際朱子学会及び市舶司シンポジウム出席並びに唐・宋政治史に関する調査研究
田仲 一成	中華人民共和国, 香港	62. 11. 25～62. 12. 18	清代地域社会経済史に関する国際会議出席及び中国祭祀演劇に関する調査研究
黒木 英充	シリア, キプロス	62. 11. 26～63. 1. 16	近代シリア政治社会史に関する調査研究
濱下 武志	中華人民共和国, 香港	62. 12. 7～62. 12. 27	清代地方史会議出席及び中国近代金融経済史に関する調査研究
猪口 孝	オーストラリア	62. 12. 31～63. 1. 10	豪州国立大学豪日研究センター実績審査委員会出席
斯波 義信	アメリカ合衆国	63. 1. 2～63. 1. 11	近世東アジアの国際関係史セミナー出席
原 洋之介	シンガポール	63. 1. 13～63. 1. 17	環太平洋経済協力委員会会議出席のため
板垣 雄三	エジプト, アラブ 首長国連邦	63. 1. 23～63. 2. 2	湾岸戦争に伴う社会状況の変化に関する調査研究
原 洋之介	パキスタン, タイ, マレーシア	63. 1. 23～63. 2. 11	イスラム経済論に関する調査研究
猪口 孝	中華人民共和国	63. 1. 24～63. 1. 31	東アジアの経済的・社会的発展と近代化に関する比較研究
池田 温	中国(台湾)・香港	63. 1. 28～63. 2. 3	第1回国際唐代学術会議出席及び東洋史に関する調査研究
松丸 道雄	オーストラリア	63. 2. 4～63. 2. 17	「古代中国及び東南アジア青銅時代文化」会議出席及び中国古代史に関する調査研究

川崎 有三	マレーシア, シン ガポール	63. 2. 8 ~63. 2. 19	マレーシア・シンガポールの中国人社会に関する調査研究
田仲 一成	香港	63. 2. 26~63. 3. 4	香港農村演劇の調査研究
大木 康	香港	63. 2. 26~63. 3. 4	香港農村演劇の調査研究
濱下 武志	シンガポール, マ レーシア	63. 2. 27~63. 3. 3	シンガポール華人社会史に関する討論会出席及び中国経済史に関する調査研究

IV 研究活動

G 外国人研究員等・内地研究員（昭和61・62年度）

〔外国人研究員等〕

氏名（国籍・現職）	期 間	研究課題	担当教官
C.L.J. VanDerMeer （オランダ グロニンゲン大学経済学部助教授）	61. 4. 19～61. 11. 18	アジアとヨーロッパ諸国における19世紀以降農業成長と生産性の比較研究	山 田 三 郎
Keith Wilson （米国 プリンストン大学博士課程）	61. 4. 24～61. 7. 15	西周金文の書道史的研究	松 丸 道 雄
William R. Carter （米国 ハーバード大学博士課程）	61. 5. 15～62. 3. 31	アジア・環太平洋地域における国際強調に関する思想と世論の発展	関 寛 治
沈 祖 煒 （中国 上海社会科学院経済研究所経済史研究室）	61. 6. 1～61. 12. 31	近代中国政府投資と現代化問題	濱 下 武 志
Cheryl A. Silverman （米国 コロンビア大学博士課程）	61. 7. 1～63. 3. 31	ユダヤ人アイデンティティの研究	板 垣 雄 三
丁 焯 （中華民国 国立成功大学歴史系副教授）	61. 7. 1～61. 8. 31	道教関係版本の研究	蜂 屋 邦 夫
Marie-Claire Bergere （フランス パリ大学教授、フランス高等社会科学院現代中国研究所長）	61. 7. 15～61. 9. 15	中国資本主義史研究	濱 下 武 志
卞 麟 錫 （大韓民国 釜山産業大学教授、同博物館長）	61. 7. 15～62. 2. 15	日本古代史及び東アジア古代文化交流史	池 田 温
Mitchiko Ishigami-Iagolnitzer （フランス 国立科学研究所、文献学研究所研究員）	61. 9. 1～61. 11. 30	中国宋時代禅林及び日本12—13世紀と18—19世紀の禅林及び仏教思想形成	松 丸 道 雄
Masaru Tamamoto （米国 ジョンホプキンス大学博士課程）	61. 11. 15～62. 8. 31	日本と中東との関係—文化交流と文化比較—	関 寛 治 板 垣 雄 三
趙 宏 偉 （中国 中国科技経営管理大学講師）	61. 11. 20～63. 3. 31	台湾の各政治経済集団及びその政治的影響力	猪 口 孝

Angel Simeonov Kalaidjiev 62. 2. 1 ~ 62. 3. 31 (ブルガリア ソフィア大学法学部助教授)	日本と東欧諸国との通商及び文化交流関係の研究—とくに日本の外国人受入制度の現状について—	関 寛 治
C.L.J.VanDerMeer 62. 2. 14 ~ 62. 3. 3 (オランダ グロニンゲン大学経済学部助教授)	アジアとヨーロッパにおける農業発展の国際比較	山 田 三 郎
張 炎 憲 62. 3. 1 ~ 62. 3. 30 (中国 中央研究院三民主義研究所副研究員)	台湾近代史	池 田 温
Frank H.H.King 62. 3. 25 ~ 62. 6. 24 (米国 元香港大学アジア研究センター所長)	アジアにおける外国銀行史の研究	濱 下 武 志
鄧 廣 銘 62. 4. 1 ~ 62. 5. 31 (中国 北京大学歴史系教授)	中国宋代の国家と社会	斯 波 義 信
Robert E Hegel 62. 4. 1 ~ 62. 5. 9 (米国 ワシントン大学助教授)	明清白話小説の読者層の成長に関する研究	田 仲 一 成
呉 勝 国 62. 4. 1 ~ 63. 3. 31 (中国 中国社会科学院世界宗教研究所)	唐代を中心とする中日文化交流史	蜂 屋 邦 夫
張 廣 達 62. 4. 7 ~ 62. 7. 15 (中国 北京大学歴史系教授)	敦煌・吐魯番資料による内陸アジア史研究	池 田 温
Ahmed Rachid 62. 5. 30 ~ 62. 6. 13 (エジプト カイロ大学経済政治学部教授)	中東の政治変動と政策決定	板 垣 雄 三
Brian Woodall 62. 6. 17 ~ 63. 6. 16 (米国 カリフォルニア大学バークレイ校博士課程)	現代日本の政党と政治	猪 口 孝
都 珖 淳 62. 7. 9 ~ 62. 12. 31 (大韓民国 漢陽大学校教授)	日韓両国史上における道教の受容と変容に関する比較研究	鎌 田 茂 雄
Sushila Narsimhan 62. 10. 1 ~ 63. 9. 30 (インド デリー大学歴史学部講師)	19世紀における日本の中国観の変遷	濱 下 武 志
ロバート・瓜生 63. 2. 18 ~ 64. 6. 31 (米国 コロンビア大学博士課程)	日本での不況産業—構造調整の政治経済	猪 口 孝

〔内地研究員〕

石島 紀之 (茨城大学人文学部・教授)

研究課題 中国現代史とくに抗日戦争時期の政治史および経済史
担当教官 池田教授 期間61. 9. 1~62. 2, 28

IV 研究活動

H 研究報告

1. 東洋文化研究所紀要

第101冊（昭和61年11月）

スレイマン大帝時代オスマン朝の大宰相と宰相たち（一） 鈴木 董

「権力移譲」への政治過程

——大英帝国と英領インドの非植民地化（一）——

竹中 千春

『観無量寿経』研究

末木文美士

初期茅盾における原理的文学観獲得の契機

——そのロシア文学受容——

芦田 肇

Vijayanagar Rule and Nattavars in Vellar Valley

in Tamilnadu during the 15th and 16th Centuries

Noboru KARASHIMA

周辺の資本主義の再編と「国家」

——マルコス戒厳令体制(1972-81)期の政治経済変動——

土佐 弘之

第102冊（昭和62年1月）

积華嚴教分記円通鈔の注釈的研究（四）

鎌田 茂雄

十五・六世紀を中心とする江南地方劇の変質について(六)完

田仲 一成

乾嘉古典學の「考古」

吉田 純

漢魏六朝詩における空間表現の形式とその変化

——漢賦から唐詩まで——

戸倉 英美

第103冊（昭和62年3月）

スレイマン大帝時代オスマン朝の大宰相と宰相たち (二)	鈴木 董
国民政府の輸出促進政策と中華工業国外貿易協会	
——一九三〇年代中国における輸出志向工業化の模索——	久保 亨
弘福寺文書の基礎的考察	
——日本古代寺院文書の一事例——	石上 英一
ザミンダールの地所経営機構と在地社会——一九世紀末	
二〇世紀初頭のダッカ地方の事例を中心に——	中里 成章
鄭振鐸とタゴール文学	
——文学研究会結成前後における文学意識の一面——	芦田 肇
地域と開発援助	
——北スマトラにおけるアサハプロジェクトの事例——	米倉 等
19世紀中葉エジプトにおける税制度	
——その2・通行・市場税——	加藤 博
松井 透教授 略歴・主要著作目録	
中根千枝教授 略歴・主要著作目録	
関 寛治教授 略歴・主要著作目録	

第104冊 (昭和62年11月)

積華嚴教分記円通鈔の注釈的研究 (五)	鎌田 茂雄
馬丹陽の布教活動をめぐって	蜂屋 邦夫
ゴール (Galle) スリランカー地方商業都市の ^{イメージ} 肖像 (一)	
——都市誌の試み——	友杉 孝
熊十力『新唯識論』哲学の形成	
——二十世紀前半の中国哲学思想世界を通して——	坂元ひろ子
所謂「ジルベール・シエウ事件」をめぐって	
——東遊運動とその周辺——	白石 昌也
タイにおける就業構造	原 洋之介

IV 研究活動

第105冊（昭和63年2月）

ゴール（Galle）スリランカー地方商業都市の肖像^{イメージ}（二）

——都市誌の試み——

友杉 孝

馮夢龍『山歌』の研究

大木 康

『太平經』の會話體の性格について

高橋 忠彦

順徳団練総局の成立

西川喜久子

第三世界の海運業と外国援助

——セイロン海運公社の事例研究——

中村 尚司

郭煌毛詩音殘卷反切の研究（中の6）

平山 久雄

第106冊（昭和63年3月）

東南アジア華人社会の伝統芸能

——農曆七・八・九月祭祀と地方劇——

尾上 兼英

スレイマン大帝時代オスマン朝の大宰相と宰相たち（三）

鈴木 董

倭国器と清初の江南

岡本 さえ

埋もれていた行神

——主として秦簡「日書」による——

工藤 元男

『文学雑誌』と『文芸月報』

——北方左連の「関門主義」の克服をめぐる——

近藤 龍哉

エジプト農村史研究序説

——聞き取り「カフル・シュブラフール村の村方騒動」、

「アブー・スィネータ村醜聞」——

加藤 博

日本古代史科学の方法試論

石上 英一

The First Being : Intellect ('*aql/khiradh*) As the Link

Between God's Command and Creation

According to Abū Ya'qūb al-Sijistānī

Shigeru KAMADA

鎌田茂雄教授 略歴・主要著作目録

2. 東洋文化

第67号（昭和62年3月）特集“近代世界におけるアジアとヨーロッパ”

- 「気」——中西思想交流の一争点—— 岡本 さえ
- 十七世紀後半、ヨーロッパに紹介された
中国の年代記をめぐって 小西 鮎子
- 近代中国における「アジアとヨーロッパ」 濱下 武志
- 『キッチャーヌキット』考——一九世紀シャムの
知識人とキリスト教—— 石井 米雄
- 『ニヤイ・ダシマ物語』論 土屋 健治
- 課税原理としての地代論とインド社会
——メーラト県地稅行政の思想的背景について—— 松井 透
- 一八世紀初頭オスマン帝国の遺歐使節制度と「使節の書」
——ウィーン派遣大使シラフタール・イブラヒム・
パシャの事例—— 鈴木 董

第68号（昭和63年3月）特集“東亞古代国制試探”

- 漢代の察挙制度と爵制 福井 重雅
- 秦漢国家の陸運組織に関する一考察
——居延漢簡の事例の検討から—— 大櫛 敦弘
- 中国の「内廷」と「外廷」——日本古代史における
「内廷」「外廷」概念再検討のために—— 古瀬奈津子
- 唐滅高昌国後の西州形勢 張 廣 達
- 唐律令制下の力役制度について
——日唐賦役令管見—— 大津 透

IV 研究活動

唐代前期の官賤制について	榎本 淳一
日本律令法の法体系分析の方法試論	石上 英一
日唐医疾令の復原と比較	丸山裕美子
日本律令以前刑罰制度の特質	菊池 克美

3. 東洋文化研究所研究報告 (*在庫なし)

- * 1. 仁井田 陞『中国の農村家族』1952
- * 2. 周藤 吉之『中国土地制度史研究』1954
- * 3. 泉 靖一・斎藤 廣志『アマゾン その風土と日本人』1954
- * 4. 大林 太良『東南アジア大陸諸民族の親族組織』1955
- * 5. 結城 令聞『世親唯識の研究 上』1956
- * 6. 関野 雄『中国考古学研究』1956
- * 7. 窪 徳忠『庚申信仰』1956
- * 8. 江上波夫他『館址 東北地方における集落址の研究』1958
- * 9. 仁井田 陞『中国法制史研究 刑法』1959
- * 10. 仁井田 陞『中国法制史研究 土地法・取引法』1960
- * 11. 米澤 嘉圃『中国絵画史研究』1961
- * 12. 結城 令聞『唯識学典籍志』1962
13. 仁井田 陞『中国法制史研究 奴隸農奴法・家族村落法』1962
14. 築島 謙三『文化心理学基礎論』1962
- * 15. 窪 徳忠『庚申信仰の研究 年譜篇』1962
- * 16. 仁井田 陞『中国法制史研究 法と慣習・法と道德』1964
- * 17. 鎌田 茂雄『中国華嚴思想史の研究』1965
- * 18. 江上 波夫『アジア文化史研究 要説篇』1965
19. 泉 靖一『濟州島』1966
20. 江上 波夫『アジア文化史研究 論考篇』1967

- *21. 鈴木 敬『明代絵画史研究 浙派』1968
- *22. 窪 徳忠『庚申信仰の研究 島嶼篇』1969
- *23. 中根 千枝『家族の構造 社会人類学的分析』1970
- *24. 窪 徳忠『沖縄の習俗と信仰』1971
- *25. 川野 重任『農業発展の基礎条件』1972
- *26. NAKAMURA Kojiro, *Ghazali on Prayer* 1973
- *27. 窪 徳忠『増訂 沖縄の習俗と信仰』1974
- *28. 鎌田 茂雄『宗密教学の思想史的研究』1975
- 29. 松井 透『北インド農産物価格の史的研究 1861～1921年』1977
- *30. 荒 松雄『インド史におけるイスラム聖廟 宗教権威と支配権力』
1977
- *31. 池田 温『中国古代籍帳研究 概観・録文』1979
- *32. 田仲 一成『中国祭祀演劇研究』1981
- 33. 松丸 道雄『東京大学東洋文化研究所蔵甲骨文字 図版篇』1983
- *34. 田仲 一成『中国の宗族と演劇 華南宗族社会における祭祀組織・
儀礼及び演劇の相関構造』1985
- *35. 鎌田 茂雄『中国の仏教儀礼』1986
- *36. 松井 透『イギリス支配とインド社会 19世紀前半北インド史の
一研究』1987
- 37. 鎌田 茂雄『新羅仏教史序説』1988
- 38. 斯波 義信『宋代江南経済史の研究』1988

4. 東洋文化研究所叢刊

- * 1. 鎌田 茂雄『華嚴学研究資料集成』1983
- 2. 深井 晋司編『ターク・イ・ブスターンⅢ 実測図集成』1983
- * 3. 鎌田 茂雄『禪典籍内華嚴資料集成』1984

IV 研究活動

4. NAKANE Chie ed., *Social Sciences and Asia*, 1984
- * 5. 蜂屋 邦夫編『儀禮士冠疏』1984
6. 鎌田 茂雄『道蔵内仏教思想資料集成』1986
7. 山田 三郎編『中部タイ稲作農村の経済変容』1986
8. 蜂屋 邦夫編『儀禮士昏疏』1986
- * 9. SEKI Hiroharu, *The Asia-Pacific in the Global Transformation*, 1987

5. イラク・イラン遺跡調査団報告

- 『テル・サラサート I』*1958, 『同 II』1970, 『同 III』1975, 『同 IV』
1981
- 『マルヴ・ダシュト I』*1962, 『同 II』1962, 『同 III』1973
- 『ファハリアン I』*1963
- 『西アジアの人類学的研究 I』1963, 『同 II』1968
- 『デーラマン I』1965, 『同 II』1966, 『同 III』*1968, 『同 IV』1971
- 『ターク・イ・ブスターン I』1969, 『同 II』1972, 『同 III』1983, 『同
IV』1984
- 『ハリメジャン I』1980, 『同 II』1982

6. インド史跡調査団報告

- 『デリー：デリー諸王朝時代の建造物の研究』第 I 巻 遺跡総目録
*1967, 第 II 巻 墓建築 1969, 第 III 巻 水利施設 1970

7. 東アジア部門美術研究分野報告

『中国絵画総合図録』第一巻 アメリカ・カナダ篇 *1982, 第二巻
東南アジア・ヨーロッパ篇 *1982, 第三巻 日本篇Ⅰ 博物館
*1983, 第四巻 日本篇Ⅱ 寺院・個人*1983, 第五巻 総索引
*1983

8. 蔵書目録

『東洋文化研究所漢籍分類目録』 *1973

『東洋文化研究所漢籍分類目録 書名人名索引』 *1975

IV 研究活動

I 個人研究業績

汎アジア部門

山田 三郎

- 1974 「アジア農業の生産性と生産構造——マクロ計量的国際比較分析——」『紀要』63
- 1975 *A Comparative Analysis of Asian Agricultural Productivities and Growth Patterns*, Asian Productivity Organization, Tokyo.
- 1975 *A Century of Agricultural Development in Japan, Its Relevance to Asian Development*, coauthored with Y. Hayami et al., University of Minnesota Press, Minneapolis, and University of Tokyo Press, Tokyo.
- 1981 「経済発展における普遍性と地域特性——アジア諸国経済発展の比較, 1960~78年——」『紀要』87
- 1982 『食糧需要の将来と農業政策』(アジア開発の経験と展望Ⅱ) (編著) アジア経済研究所
- 1982 *Labour Absorption and Growth in Agriculture, China and Japan*, coauthored with S. Ishikawa & S. Hirashima, International Labour Organization, Asian Employment Programme, Bangkok.
- 1984 “The Role of Traditional Elements and Sectors in Economic Development”, C. Nakane ed., *Social Sciences and Asia*, 東洋文化研究所

- 1986 『中部タイ稲作農村の経済変容』（共著）東洋文化研究所
- 1987 “Agricultural Growth and Productivity in Selected Asian Countries” (in S. Yamada and D. Cruz, eds.) *Productivity Measurement and Analysis: Asian Agriculture*, Asian Productivity Organization, Tokyo.
- 1987 *Productivity and Income in Dairy Farming in Japan and The Netherlands in 1983/84*, (with C. L. J. van der Meer and F. Egaitso), Research Memorandum No. 230, Faculty of Economics, University of Groningen, Groningen.

猪口 孝

- 1970 『国際関係の数量分析——北京・平壤・モスクワ, 1961-1966』
巖南堂書店
- 1978 『外交態様の比較研究——中国・英国・日本』 巖南堂書店
- 1982 『国際政治経済の構図』 有斐閣
- 1983 『現代日本政治経済の構図』 東洋経済新聞社
- 1985 『社会科学入門』 中央公論社
- 1985 『国際関係の政治経済学——日本の役割と選択』 東京大学出版会
- 1986 『日本人の選挙行動』（共著）東京大学出版会
- 1987 『族議員の研究——自民党政権を牛耳る主役たち』（共著）日本
経済新聞社
- 1987 『ただ乗りと一国繁栄主義をこえて——転換期の世界と日本』 東
洋経済新聞社
- 1987 『現代日本の政治経済 第二巻——現代日本の国際関係』（共編著）
総合研究開発機構

IV 研究活動

原 洋之介

- 1985 『クリフォード・ギアツの経済学』 リプロポート
- 1985 「タイ国における工業化戦略と労働市場」 渡辺利夫編『アジア諸国経済発展の機構と構造』 アジア経済研究所
- 1986 『中部タイ稲作農村の経済変容』（共著）東京大学東洋文化研究所
- 1986 「東南アジアにおける高度経済成長——タイ国を事例として——」 原洋之介編著『東南アジアからの知的冒険』リプロポート
- 1986 「商人国家アユタヤ王朝仮説について」 原洋之介編著『東南アジアからの知的冒険』リプロポート
- 1987 「タイにおける就業構造」 『紀要』104
- 1988 「アジアの経済発展と経済理論」 『経済セミナー』1988年1月号
- 1988 「近代日本農業発展と現代アジア諸国への関連性」 黒田俊夫編『日本の人口政策と農業政策：その教訓』 アジア人口開発協会
- 1988 「農産物貿易」 山澤逸平編『環太平洋地域における国際協力の展望』 日本国際問題研究所

友杉 孝

- 1980 「諏訪上社御柱祭りノート——歴史の隠喩——」 『東南アジア研究』18-2
- 1980 『溜池と社会形成——文化としての溜池——』 国際連合大学
- 1982 『土地の商品化と貨幣の記号化——佐賀平坦部農村の社会史を事例として』 国際連合大学
- 1983 「タイ農村社会における市場とその多義性——比較経済体制論に向けて——」 『東洋文化』63号
- 1983 『新開地における社会形成と農協——北海道深川の事例——』 国際連合大学
- 1984 「自然としての土地から商品としての土地へ——市場経済の発展

- を可能とした日本の条件——」玉城哲・旗手勲・今村奈良臣編
『水利の社会構造』東京大学出版会
- 1984 「貨幣の象徴性について——社会科学における象徴論——」青木
保編『象徴人類学』至文堂
- 1987 「ゴール (Galle) スリランカー地方商業都市の肖像 (一)——
都市誌の試み——」『紀要』104
- 1988 「ゴール (Galle) スリランカー地方商業都市の肖像 (二)——
都市誌の試み——」『紀要』105
- 1988 「商品の系譜——インド, スリランカ, 日本の事例より——」青
木 保・黒田悦子編『儀礼——文化の形式的行動——』東京大
学出版会

関本 照夫

- 1978 「農業をめぐる人のカテゴリーと相互関係——中部ジャワの一事
例」『国立民族学博物館研究報告』3-3
- 1980 「二者関係と経済取引——中部ジャワ村落経済生活の研究」『国
立民族学博物館研究報告』5-2
- 1982 「サウイト事件の文化論的考察」鈴木中正編『千年王国的民衆運
動の研究』東京大学出版会
- 1982 「ジャワ聖墓巡礼考——イスラームと土着的伝統主義」中牧弘允
編『神々の相克』新泉社
- 1983 “Social Gathering at Night : Forms of Communal Asse-
mbly in Java.” *East Asian Cultural Studies*, Vol. 22.
- 1986 「ジャワ農村経済への社会人類学的視点」板垣與一編『アジア研
究の課題と方法』東洋経済新報社
- 1986 『人類学的歴史とは何か』関一敏編・川田順造・野村雅一・福井
勝義と共著, 海鳴社

IV 研究活動

- 1986 「村と国家行事」原洋之介編著『東南アジアからの知的冒険』リ
プロポート
- 1986 「ジャワ神秘主義の民族誌」『国立民族学博物館研究報告』11-2
- 1987 「東南アジア的王権の構造」伊藤・関本・船曳編『現代の社会人
類学』第3巻 東京大学出版会

福嶋 真人

- 1986 「ジャワ農村における村長選挙とネットワーク」『アジア経済』
27-6
- 1986 「イスラム・リーダーにおける信念と演技——ジャワ伝統派イス
ラム、意識とその変容」『季刊人類学』17-3
- 1987 「閉ざされた言語——サミン運動とその言語哲学」『東南アジア
研研』24-4
- 1987 「内なる王国を求めて——ジャワ農民運動（サミン運動）に於け
る権力否定とその帰結」『アジア・アフリカ言語文化研究』33
- 1987 “*Kebatinan Mystical Sects and the Meaning of Spirit Possession in Javanese Culture*” *Man and Culture in Oceania*
vol. 3.
- 1988 「内面と力——ジャワ神秘主義と伝統的政治モデル」『民族学研
研』52-4

東アジア部門（第一）

斯波 義信

- 1960 『宋史食貨志訳註（一）』（共著）東洋文庫
- 1968 『宋代商業史研究』風間書房(*Commerce and Society in Sung China*, trl. by Mark Elvin, 1970, Ann Arbor, Michigan.)

- 1974 「宋代市糴制度の沿革」『青山博士古稀記念宋代史論集』省心書房
- 1975 “Urbanization and Development of Markets in the Lower Yangtze”, J. W. Haeger ed., *Crisis and Prosperity in Sung China*, The University of Arizona Press, Tucson, Arizona.
- 1977 “Ningpo and Its Hinterland”, G. W. Skinner ed., *The City in Late Imperial China*, Stanford University Press, Stanford.
- 1982 『函館華僑関係資料集』大阪大学文学部（紀要22）
- 1983 “Song Foreign Trade, Its Scope and Organization”, M. Rossabi ed., *China Among Equals: The Middle Kingdom and Its Neighbors, 10th–14th Centuries*, The University of California Press, Berkeley and Los Angeles.
- 1983 「長江下游地区的水利系統」『歴史地理』3
- 1986 “Max Webers Beitrag zur Geschichte nicht-europaischer Gesellschaften: China”, Jürgen Kocka, hrsg., *Max Weber, der Historiker*, Vandenhoeck & Ruprecht.
- 1988 『宋代江南経済史の研究』東洋文化研究所

濱下 武志

- 1980 『中国近代経済史関係解題つき文献目録——海関資料を中心として——』（一橋大学細谷新治研究室）
- 1981 「清末中国における『銀行論』と中国通商銀行の設立——1897年、盛宣懐の設立案をめぐる批判と修正——」『一橋論叢』85–6
- 1984 「中国幣制改革と外国銀行」『現代中国』58号
- 1984 「世界資本主義とアジア民族資本」社会経済史学会編『社会経済史学の課題と展望——社会経済史学会設立50周年記念——』有

IV 研究活動

斐閣

- 1984 「傳統社會與庶民金融——新加坡、馬來西亞華人社會的『合會』與『銀信匯兌』」 『關於東南亞華人傳統戲劇・曲藝綜合調查・研究第二部新加坡・馬來西亞』 東洋文化研究所
- 1985 「近代アジア貿易圏における銀流通——アジア經濟史像に関する一構想——」 『社会經濟史学』 51-1
- 1986 「朝貢貿易システムと近代アジア」 『国際政治』 82
- 1986 「イギリス帝国經濟と香港・中国」 山田秀雄編 『イギリス帝国經濟と植民地』 新評論
- 1987 「近代中国における『アジアとヨーロッパ』」 『東洋文化』 67
- 1988 「現代中国と近代史研究」 『中央大学 アジア史研究』 12

小島 毅

- 1986 「宋朝士大夫の研究をめぐって」 『中国社会と文化』 1号
- 1986 「北宋における天と地」 (東京大学大学院修士論文)

池田 温

- 1959/60 「唐代の郡望表」 『東洋学報』 42-3, 4
- 1965 「8世紀中葉における敦煌のソグド人聚落」 『ユーラシア文化研究』 1号
- 1968 「中国古代物価の一考察」 『史学雑誌』 77-1, 2
- 1971 「盛唐之集賢院」 『北海道大学文学部紀要』 19-2
- 1979 『中国古代籍帳研究 概観・録文』 東洋文化研究所
- 1980 『敦煌の社会』 (編) <講座敦煌3> 大東出版社
- 1981 『大唐開元禮附大唐郊記録』 (編) (第二刷) 汲古書院
- 1981 「中国歴代墓券略考」 『紀要』 86
- 1986 「<唐令拾遺補> 編纂をめぐって」 唐代史研究会編 『律令制——

中国朝鮮の法と国家』汲古書院

- 1987 「前近代東亞における紙の國際流通」東方学会編『東方学会創立四十周年記念東方学論集』東方学会

宮嶋 博史

- 1974 「朝鮮甲午改革以後の商業的農業」『史林』57-6
- 1976 「韓国における『民族史学』について」『歴史学研究』439号
- 1977 「李朝後期農書の研究」『人文学報』（京都大学人文科学研究所）43号
- 1978 「朝鮮『土地調査事業』研究序説」『アジア経済』19-9
- 1980 「朝鮮農業史上における15世紀」『朝鮮史叢』3
- 1981 「李朝後期における朝鮮農法の発展」『朝鮮史研究会論文集』18集
- 1983 「李朝後期の農業水利」『東洋史研究』41-4
- 1984 「朝鮮史研究と所有論」『人文学報』（東京都立大学人文学部）167号
- 1986 「朝鮮社会と儒教」『思想』750号
- 1987 「朝鮮半島の稲作展開」渡部忠世ほか編『稲のアジア史』第2巻，小学館

松丸 道雄

- 1959 『甲骨文字』奎星会出版部
- 1959/80 「日本散見甲骨文字蒐彙」『甲骨学』7~12号
- 1963 「殷墟卜辞中の田獵地について」『紀要』31
- 1970 「殷周国家の構造」『世界歴史』第4巻 岩波書店
- 1980 『西周青銅器とその国家』（編）東京大学出版会
- 1980 「甲骨文偽作問題新探」『池田末利博士古稀記念東洋学論集』同

IV 研究活動

事業会

- 1982 『東京大学東洋文化研究所蔵・中国青銅器資料分類目録』第1冊
殷・西周篇（持井康孝氏と共編）東洋文化研究所
- 1983 『東京大学東洋文化研究所蔵甲骨文字 図版篇』東洋文化研究所
- 1984 「西周後期社会にみえる変革の萌芽—— 鬲鼎銘解釈問題の初歩的
解決——」『西嶋定生博士還暦記念 東アジア史における国家
と農民』山川出版社
- 1985 『中国文明の成立』（共著）講談社

東アジア部門（第二）

蜂屋 邦夫

- 1966 「中国的心性について——主として語義論的観点から——」『紀
要比較文化研究』6輯
- 1973 「范縝『神滅論』の思想について」『紀要』61
- 1977 「孫綽の生涯と思想」『東洋文化』57号
- 1979 「戴逵について——その芸術・学問・信仰——」『紀要』77
- 1981 「言盡意論と言不盡意論」『紀要』86
- 1983 「太平経における言辞文書——共・集・通の思想——」『紀要』92
- 1984 『儀禮士冠疏』（編）東洋文化研究所
- 1985 『中国の思惟』法蔵館
- 1986 『儀禮士昏疏』（編）東洋文化研究所
- 1987 「馬丹陽の布教活動をめぐって」『紀要』104

吉田 純

- 1985 「段玉裁の経学——学問と生涯——」『紀要』98
- 1987 「乾嘉古典学の「考古」」『紀要』102

1988 「『尚書古文疏證』とその時代」 『日本中国学会報』第40集

田仲 一成

1970 「南宋時代の福建地方劇について」 『日本中国学会報』22号

1972 “Development of Chinese Local Plays in the 17th and 18th Centuries”, *Acta Asiatica*, No. 23.

1973/87 「十五・六世紀を中心とする江南地方劇の変質について」 『紀要』60, 63, 65, 71, 72, 102

1977 “A Study on P‘i-p‘a chi in Hui-chou Drama—Formation of Local Plays in Ming and Ch‘ing Eras and Hsin-an Merchants—” *Acta Asiatica*, No. 32.

1981 『中国祭祀演劇研究』 東洋文化研究所

1981 「清代の会館演劇について」 『紀要』86

1985 『中国の宗族と演劇』 東洋文化研究所

1985 “The Social and Historical Context of Ming-Ch‘ing Local Drama”, David Johnson, Andrew J. Nathan, & Evelyn S. Rawski eds., *Popular Culture in Late Imperial China*, California University Press.

戸田 禎祐

1973 『牧谿・玉澗』 講談社

1975 『梁楷・因陀羅』 (川上涇・海老根聡郎両氏と共著) 講談社

1977/83 『海外・日本所在中国絵画目録』 (共編) 全5冊 東洋文化研究所東洋学文献センター

1981 「二祖調心図再考」 『鈴木敬先生還暦記念 中国絵画史論集』 吉川弘文館

1981 「劉松年の周辺」 『紀要』86

IV 研究活動

- 1982 「模写性について」『ミュージアム』380号
1983 『中国の花鳥画と日本』（小川裕充氏と共著）学習研究社
1986 『静嘉堂 中国絵画』静嘉堂文庫
1987 「色と光——水墨画発生メカニズムに関する一提言」『ミュージアム』439号
1988 「葛叔英（松田）筆 栗鼠図」『国華』1110号

小川 裕充

- 1980 「華北と江南—中国絵画史の図式」『週刊朝日百科世界の美術』94号
1980 「唐宋山水画史におけるイメージーション（上）（中）（下）」『国華』1034・1035・1036号
1981 「雲山図論——米友仁『雲山図巻』について」『紀要』86
1981 「院中の名画——董羽・巨然・燕肅から郭熙まで——」『鈴木敬先生 還暦記念 中国絵画史論集』吉川弘文館
1983 『中国の花鳥画と日本』（戸田禎祐氏と共著）学習研究社
1984 「近世初期画壇における伝統と創造」『美術史学』第6号
1986 「米友仁の絵画と文学」『美術史学』第8号
1986 「雲山図論続稿（上）（下）」『国華』1096・1097号
1987 「壁画における〈時間〉とその方向性」『美術史学』第9号
1988 「牧谿——古典主義の変容（上）」『美術史論叢』第4号

南アジア部門

加納 啓良

- 1977 *Land Tenure System and the Desa Community in Nineteenth Century Java*, I. D. E. Special Paper No. 5, Institute of

Developing Economies.

- 1979 『パグララン——東部ジャワ農村の富と貧困——』アジア経済研究所
- 1979 「ジャワ農村経済史研究の視座変換——“インボリューション・テーゼ”の批判的検討——」『アジア経済』20-2
- 1981 『サワハン——「開発」体制下の中部ジャワ農村——』アジア経済研究所
- 1982 「インドネシアにおける“土地なし”農村世帯の存在形態」滝川勉編『東南アジア農村の低所得階層』アジア経済研究所
- 1983 「『二重経済』と『農業インボリューション』を超えて——『農民的自給生産』再考——」『東洋文化』63号
- 1985 『「内務行政雑誌」所収論文・記事目録 (A Catalogue of the Articles in, Tijdschrift voor het Binnenlandsch Bestuur)』東洋文化研究所東洋学文献センター
- 1986 「オランダ植民地支配下のジャワ糖業」『社会経済史学』51-6
- 1987 「インドネシアにおける稲作技術変化と農村社会の変容」滝川勉編『東南アジアの農業技術変革と農村社会』アジア経済研究所
- 1987 「インドネシアの政治体制と行政組織」萩原宜之・村嶋英治編『ASEAN諸国の政治体制』アジア経済研究所

土佐 弘之

- 1986 「周辺資本主義の再編と『国家』——マルコス戒厳令体制(1972-81)期の政治経済変動」『紀要』101

山崎 利男

- 1974/75 「ラームモーハン=ローイの司法制度論」『紀要』64, 66
- 1979 「インドの銅板文書の形成とそのはじまりについて」『紀要』73

IV 研究活動

- 1982 「4-12世紀インドにおける村落享有の確認とその消滅」
『紀要』88
- 1982 「インドにおける中世世界の成立」『中世史講座1』学生社
- 1982 “Some Aspects of Land-Sale Inscriptions in Fifth and
Sixth Century Bengal”, *Acta Asiatica*, 43.
- 1984 「南アジア総論」・「インド(古代)」『アジア歴史研究入門
5』同朋舎
- 1985 『悠久のインド』<ビジュアル版 世界の歴史4> 講談社
- 1985 「ヒンドゥー法」『中世史講座4』学生社
- 1985 R. S. シャルマ『古代インドの歴史』(山崎元一氏と共訳)
山川出版社
- 1986 「1947年インド独立法の研究(1)」『紀要』100

柳澤 悠

- 1971/72 「インド在来織物業の再編成とその諸形態(I)(II)」『アジア
経済』12-12; 13-2
- 1975 「インドにおける賃労働の存在形態」山口博一編『インドの経済
政策と諸階層』アジア経済研究所
- 1976 「南インドにおける地主=小作関係の展開」辛島昇編『インド史
における村落共同体の研究』東京大学出版会
- 1979 「19世紀末南インドの農業生産と農業労働者」『横浜市立大学論
叢』人文科学系列 30-2/3 合併号
- 1979 「南インドにおける対『アウト・カースト』経済政策の展開」
『経済と貿易』(横浜市立大学経済研究所)127号
- 1980 「第一次日印会商をめぐる英印関係」『経済と貿易』(横浜市立
大学経済研究所)129号
- 1982 『南インド・カーヴェリ河流域の農村社会の史的変容』東京外国

語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

- 1985 *Socio-Economic Changes in a Village in the Paddy Cultivating Area in South India*, Institute for the Study of Languages and Cultures of Asia and Africa, Tokyo University of Foreign Studies.
- 1987 「インド——『社会主義型社会』と下層民衆の貧困——」川田侃・石井摩耶子編『発展途上国の政治経済学』東京書籍
- 1988 『20世紀初め南インドにおけるカーストと土地保有構造の変動——ティルチラパッリ県 22ヶ村の村落地税台帳分析——』（水島司氏と共著）東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

竹中 千春

- 1983 「植民地国家における体制と危機——インド・ナショナリズムの位相, 1916-1935年」（東京大学法学部助手論文）
- 1984 「非暴力行動の社会心理」（書評）『国際政治』76
- 1985 「T・スコッチポル『国家と革命』」（書評）『国家学会雑誌』98-11/12
- 1985 「逗子・1984年——『平和』と『女性』の視覚から——」『平和研究』10
- 1986 「『権力移譲』への政治過程——大英帝国と英領インドの非植民地化（一）」『紀要』101
- 1987 “Peace, Democracy and Women in Postwar Japan,” *Peace and Change: A Journal of Peace Research*, Vol. 12, No. 3/4, Special Issue on Peace Issues in Japan.
- 1988 「大英帝国の解体——『パレスティナ問題』, 1945-1947年——」山口定他編『現代デモクラシー（仮題）』第1巻（岩波書店,

IV 研究活動

9月刊行予定)

上村 勝彦

- 1972 「インド古典詩論における詩作の条件」『東方学』43輯
- 1975/76 “Bhaṭṭa Narasiṃha’ s Sarasvatīkaṇṭhābharaṇa-vyākhyā”,
I, *Buddhist Studies*, Vol. V.
II-1, *Studies in Buddhist Thought* (奥田慈応博士記念論集)
II-2, 3, *Journal of Indian Buddhist Studies*, 24-1, 25-1.
- 1978 『屍鬼二十五話』 <東洋文庫325>平凡社
- 1980 『パンチャタントラ』 (共訳) <アジアの民話12>大日本絵画
- 1981 『インド神話』東京書籍
- 1982 『インドの詩人』春秋社
- 1982 “Bhaṭṭa Narasiṃha’ s Saravatīkaṇṭhā bharaṇa-vyākhyā”,
III-1, *The Adyar Library Bulletin*, Vols, 44, 45.
- 1984 『カウティリヤ実利論』 (上) (下) 岩波文庫
- 1986 “Is the word *mukhyā-vṛtti* synonymous with *abhidhā* according to Bhaṭṭa Lollaṭa?”, *The Adyar Library Bulletin*, Vol. 50.
- 1987 「アビナヴァグプタのバッタ・ナーヤカ批判」『高崎直道博士還暦記念論集』春秋社

西アジア部門

板垣 雄三

- 1963 「オラービー運動 (1879-1882) の性格について」『紀要』31
- 1968 「<アラブ社会主義>における Ṭabaqa (階級) 認識について」
『アジア・アフリカ言語文化研究』1

- 1971 「イスラム改革思想」 『世界歴史』 第21巻 岩波書店
- 1973 「民族と民主主義」 『歴史における民族と民主主義』 青木書店
- 1974 『アラブの解放』 (編著) 平凡社
- 1978 『中東ハンドブック』 (編著) 講談社
- 1980 「アラブの政治文化と国民形成」 『国民国家の形成と政治文化』
岩波書店
- 1984 『パレスチナ人とユダヤ人』 (吉田悟郎氏と共編) 三省堂
- 1986 『イスラム・価値と象徴』 (編著) 筑摩書房
- 1987 『新アジア学』 (荒木重雄氏と共編著) 亜紀書房

鈴木 董

- 1978 「オスマン・トルコ社会思想の一側面——有機体的社会観の展開——」 『イスラム世界』 14号
- 1981 「中東イスラム世界に於ける国際体系の伝統と西洋の衝撃」 『国際政治』 67号
- 1983 「軍事・行政制度——オスマン帝国の場合——」 『中近東文化センター研究会報告』 4号
- 1986 「官僚の世界」 佐藤次高編 『講座イスラム3』 筑摩書房
- 1986 「征服と都市建設——オスマン帝国1300-1481年——」 『地中海学研究』 9号
- 1986 「オスマン帝国の統治機構——比較史的分析——」 梅棹忠夫・松原正毅編 『統治機構の文明学』 中央公論社
- 1986/88 「スレイマン大帝時代オスマン朝の大宰相と宰相たち(一) (二) (三)」 『紀要』 101, 103, 106
- 1987 「一八世紀初頭オスマン帝国の遣欧使節制度と『使節の書』——ウィーン派遣大使シラフタール・イブラヒム・パシャの事例——」 『東洋文化』 67号

IV 研究活動

- 1987 「セリム一世の対マムルーク朝遠征と征服地における支配体制組織化の過程——トプカプ宮殿附属古文書館所蔵D9772号文書の再検討によせて——」『オリエント』30-1
- 1987 「中東における統合と共存の伝統とその変容についての一省察——オスマン帝国のケースを中心として——」『国際政治』86号

黒木 英充

- 1986 『レバノン年表（1969～1985）』（編）M. E. S. Series No. 19
アジア経済研究所
- 1987 「アレッポ都市社会の構造——18世紀後半から19世紀初めを中心に——」『比較都市史研究』第6巻第2号
- 1988 「都市騒乱に見る社会関係：アレッポ，1819-20年」『日本中東学会年報』第3号

松谷 敏雄

- 1969 「初期農耕村落の研究」『紀要』47
- 1972 「ピゼとチネ」『紀要』58
- 1973 *Marv-Dasht III*（編）東洋文化研究所
- 1974 「西アジアの特異な石器 <サイド・ブロー＝ブレイド・フレイク>」『東洋文化』54号
- 1975 *Telul eth-Thalathat III*（編）東洋文化研究所
- 1977 “Excavations at Telul eth-Thalathat, 1976”, *Sumer*, XXXII, No. 1.
- 1980 *Halimehjan I*（編）東洋文化研究所
- 1981 *Telul eth-Thalathat IV*（編）東洋文化研究所
- 1982 *Halimehjan II*（編）東洋文化研究所
- 1986 「先史学」『日本の民族学』弘文堂

後藤 明 (ペンネーム後藤 晃)

- 1980 『ムハンマドとアラブ』 東京新聞出版局
- 1981 「ヒジュラ前後のメディナの政情」 『オリエント』 23-2
- 1983 「自由都市メッカ」 護 雅夫編 『内陸アジア・西アジアの社会と文化』 山川出版社
- 1985 「ムハンマド伝の史料に関する覚書Ⅰ」 『山形大学史学論集』 5
- 1985 「『コーラン』にみえる預言者とその民」 『東洋学報』 66
- 1985 「『コーラン』にみえるウンマ」 『三笠宮殿下古稀記念オリエント学論集』 小学館
- 1985 「イスラームの政治的展開」 板垣雄三・佐藤次高編 『概説イスラーム史』 有斐閣
- 1985 「アラブ文化とイスラム」 中村廣治郎編 『講座イスラム1』 筑摩書房
- 1987 「『ムハンマド』伝の史料に関する覚書Ⅱ」 『山形大学史学論集』 7
- 1987 「イスラームは歴史のなかで何を棄てたか」 片倉もところ編 『人々のイスラーム』 日本放送出版協会

鎌田 繁

- 1977 「サッラージュの神秘階梯説」 『オリエント』 20-1
- 1979 「サッラージュによるスーフィーの理想的生活について」 『日本オリエント学会創立二十五周年記念オリエント学論集』 刀水書房
- 1982 “Nābulusī’s Commentary on Ibn al-Fāriḍ’s *Khamrīyah*”, *Orient*, Vol. 18.
- 1983 “A Study of the Term *Sirr* (*Secret*) in Sufi *Laṭā’if Theories*”, *Orient*, Vol. 19.

IV 研究活動

- 1984 『モッラー・サドラーの靈魂論——『真知をもつ者たちの靈藥』
校訂・訳注並びに序説——』イスラム思想研究会
- 1984 「クルアーン第二四章第三五節（「光の節」）の神秘主義的注釈
について」『日本オリエント学会創立三十周年記念オリエント
学論集』刀水書房
- 1985 「モッラー・サドラーの輪廻 (tanāsukh) 思想」『イスラム世
界』23・24号
- 1985 「シーア派の発展」中村廣治郎編『講座イスラム1』筑摩書房
- 1986 「モッラー・サドラーの『万有帰神論』訳注」『紀要』100
- 1988 “The First Being : Intellect (*'aql/khiradh*) As the Link
Between God's Command and Creation According to
Abū Ya'qūb al-Sijistānī” 『紀要』106

林 佳世子

- 1982 「15世紀後半のイスタンブル——メフメト2世の復興策を中心
に」『お茶の水史学』第25号
- 1988 「「メフメト2世のワクフ文書」群の成立」『日本中東学会年
報』第3号

J 図 書

本研究所は、アジア諸地域に関する図書を約38万冊、雑誌を約4,300種所蔵している。とくに漢籍は今日収集不可能な貴重なものが多く、日本で有数のコレクションである。その他の分野の図書・雑誌も鋭意収集に努め、近年着実に増加している。それらは研究者に公開され、本研究所2階の閲覧室には毎年のべ約8,500名の閲覧者がある。

本研究所蔵の図書・雑誌数は、昭和62年4月1日現在、次のとおりである。

(但し整理中のものは含まない)

和・中・朝文図書	318,055冊	
欧文図書	59,915冊	計377,970冊
和文雑誌	1,717種	
朝文雑誌	253種	
中文雑誌	1,543種	
欧文雑誌	827種	計4,340種

このほか、マイクロフィルム3,547リール、マイクロ・フィッシュ約4万シートを所蔵する。

主要所蔵図書

〔大木文庫〕本研究所創設の当初に、大木幹一氏より中国法制関係書総数3,168部、45,452冊の寄贈を受けた。法律のみならず、政治、外交、経済、産業など研究上の貴重書が多く、明代以後の時期の研究にはとくに欠くことのできない蒐集資料である。いわゆる官箴や公牘の類の数百部は、本文庫の

IV 研究活動

ひとつの柱梁をなしている。その目録は昭和34年に旧蔵者の稿本にもとづき編纂、刊行された。

〔帝国学士院東亜諸民族調査室旧蔵書〕昭和19年帝国学士院東亜諸民族調査室の解散にともない、その蔵書の和漢洋書・雑誌・資料等2,000冊が移管された。このなかには西欧におけるアジア諸民族研究の主要な文献が集められている。

〔東方文化学院旧図書〕東方文化学院東京研究所は、昭和4年に東方文化に関する研究機関として創設され、外務省の所管に属したが、昭和23年廃せられた。昭和42年3月、その旧蔵書と和漢洋書あわせて103,587冊が本研究所に移管された。

〔松本忠雄氏旧蔵書〕昭和25年度科学研究費補助金により、松本忠雄氏旧蔵の和漢洋書、雑誌など3,000冊を購入した。これはとくに近代中国研究資料として重要なものを多く含んでいる。

〔長沢規矩也氏旧蔵書〕昭和26・28両年度科学研究費補助金により、長沢規矩也氏旧蔵の約3,000冊を購入した。その内容は明清時代の戯曲小説類で、貴重書も少なくなく、中国文学研究上重要な資料である。昭和36年11月本研究所創立20年に当り、同氏から約150冊の補充を得るとともに『雙紅堂文庫分類目録』を刊行した。

〔清野謙次氏旧蔵書〕昭和27・28両年度科学研究費補助金により、清野謙次氏旧蔵洋書750冊を購入した。人類学・考古学関係のものを根幹とする貴重なコレクションであり、昭和53年3月に分類目録を刊行した。

〔矢吹慶輝氏旧蔵書〕昭和27年度科学研究費補助金により、矢吹慶輝氏旧蔵洋書約360冊を購入した。英・仏・独のマニ教関係の文献がその中心をなし、他に仏教遺跡の発掘報告書も含まれている。

〔下中文庫〕下中弥三郎氏より、昭和28年1月から32年6月に至るまで、戦後出版の中国書4,500冊、中国雑誌10種及び戦後出版の東洋関係洋書130冊を受贈した。とくに中国書は当時入手できた書の主要なものをほとんど網羅

し、戦後の中国研究に関する重要な資料である。

〔東京銀行調査部旧蔵資料〕昭和34・35両年度にわたり、東京銀行調査部所蔵の経済関係書を主とする和洋書・資料類約18,000冊の寄贈を受けた。

〔仁井田陞氏旧蔵書〕本研究所名誉教授仁井田陞氏の逝去（昭41・6・22）後、所蔵の中国書5,000冊、洋書120冊、和書2,200冊、清代公私文書類900余点、50基の碑文の拓本を受入れた。これらの図書資料は、大木文庫とともに旧中国の社会研究に極めて重要なものである。

〔我妻栄氏旧蔵資料〕我妻栄氏の逝去（昭和48年10月）後、所蔵の和洋法学文献および各種資料が東京大学に寄贈された際、本研究所はとくにアジア法制関係文献資料総数647部932冊の寄贈を受けた。その目録は昭和57年3月「我妻栄先生旧蔵アジア法制関係文献資料目録」として刊行した。

〔倉石武四郎氏旧蔵書〕昭和50年度に本学名誉教授倉石武四郎氏の漢籍を主とする蔵書を収蔵することとなり、昭和56年度までにその重要な部分、漢籍約4,300点などを購入した。

〔江上波夫氏旧蔵書〕昭和56・57・59年度にわたり、本研究所名誉教授江上波夫氏の蔵書のうち、歴史学、民族学、考古学を中心とした洋書（露文を含む）の一部を購入した。

〔Hans Daiber 氏旧蔵写本〕昭和61年度と62年度にわたり、文献センターと協力し、オランダの学者ハンス・ダイバー氏の収集した計367点の写本を購入した。主としてアラビア語によって書かれたもので、イスラームの宗教、思想、歴史に関する重要な資料である。

以上の各コレクションのほか、昭和33年度から3ヵ年にわたって文部省科学研究費により、総合研究「アジア地域の社会・経済構造」の一環として、その資料（主として洋書）1,800冊を購入し、さらに昭和36年度から40年度まで機関研究および特定研究「アジア社会の近代化と文化の変動」において、継続して資料の蒐集に努め、総数4,771冊に達した。

K 資料

本研究所の収蔵する諸種の資料のうち、重要なものを以下に掲げる。

〔殷代甲骨〕本研究所蔵甲骨は、次の3部分から成る。第1は、故河井仙郎氏旧蔵の1,708片で、これは昭和54年に現蔵者井上富美子氏より寄贈された。第2は故田中慶太郎氏旧蔵の393片で、これは昭和54年に購入した。第3は旧蔵者三浦清吾氏より寄贈された2片である。合計2,103片に達し、京都大学人文科学研究所に次ぐ、わが国有数の蒐集である。これらは、整理・綴合の上、松丸道雄『東京大学東洋文化研究所蔵甲骨文字 図版篇』（東洋文化研究所報告 1983）として刊行された。考釈篇は続刊の予定である。

〔中国歴代古銭・銭范〕旧東方文化学院の蒐集品で、殷代の貝貨、戦国時代の布銭・刀銭・郢爰からはじまり、歴代の代表的貨幣を収蔵する。約1,250点の古銭と、10点余の銭の范模を含んでいる。現在、整理中である。

〔中国考古資料〕上記の殷墟出土甲骨片、古銭以外に、瓦当約110点があり、また鏡、戈、戟、鏃など青銅器、玉器、土器、磚、磚製買地券、壁画片、俑、仏像、衣服、室内装飾品、土俗品がある。その大部分は旧東方文化学院が購入し、本研究所に移管されたものである。

〔中国絵画資料（原版・焼付写真・カラスライド等）〕米国、カナダ、欧州諸国、東南アジア諸国の美術館、個人蒐集家が所蔵する中国絵画および日本に現存している中国絵画に関するものが主体となっており、その他に米国ミシガン大学アーカイヴより購入した中国絵画の焼付写真、東京国立文化財研究所原版からの焼付写真等がある。現在、中国絵画に関する写真資料の蒐集としては世界有数の質量を備えている。これらの資料については、「東洋学文献センター叢刊」として5冊の目録が昭和52～58年に刊行され、また

図録は『中国絵画総合図録』（5巻）として東京大学出版会より昭和57～58年に刊行された。

〔中国清代・民国期の文書資料〕17・18世紀より20世紀に及ぶ、北京をはじめ嘉興、武進、蘇州、通州、宝応、鳳山などにおける土地文書を中心とし、その他公私文書類約二千数百点を収蔵している。仁井田陞名誉教授旧蔵遺贈分や旧東亜研究所収集文書等を含む。現在東アジア部門の歴史・経済・政治関係者が所外の研究者と協力して整理中であり、その目録と一部の内容は、昭和58～61年に『東洋文化研究所所蔵中国土地文書目録・解説（上）（下）』（東洋学文献センター叢刊）として刊行された。

〔内蒙古出土学術資料〕本研究所名誉教授江上波夫氏が戦前に内蒙古で発掘・採集された資料約一万点が昭和58年度に寄贈された。これらは主として土器片・陶器片などであり、今日では入手しがたい貴重な資料である。これらの資料の一部は氏のいくつかの論文に掲載されているが、他の圧倒的多数は未発表のものであって、将来の公刊が望まれる。

〔中世インド・イスラム史跡調査関係資料〕デリーおよびインド各地に現存するいわゆるサルタナット時代のムスリム遺跡に関する資料で、各種サイズの写真、実測図などが主なものである。これらの資料は昭和34～37年度に「東京大学インド史跡調査団」が実施した2回にわたる現地調査の成果の一部で、とくにニューデリーとその周辺地域に現存する建造物の資料は、今日消滅してしまったものが多く、諸外国に見られない貴重な資料を含んでいる。

〔西アジア考古資料〕人類文明の起源、東アジアおよび日本古代文明の源流としての古代イラン文明の研究を目的として、昭和31年以来、東京大学イラク・イラン遺跡調査団がイラク・イラン両国における遺跡14箇所の発掘・調査の結果収集したものである。その数は数万点に達し、これらはここ10年来各国が遺物の分与、流出を厳禁している今日では甚だ貴重な資料である。特にその大部分は発掘品で、考古学上第一級資料である。それらの内訳は、

- (1) 石器類。旧石器時代から新石器時代に及ぶ各種の石器、特に半月形石

IV 研究活動

刃や梯形石刃が数千点に達している。

- (2) 土器類。数万点の多種多様の有文土器片と完形品は、新石器時代の文様研究の上ばかりではなく、当時の生活や宗教を考える上で重要な資料である。また、青銅器時代末期からパルティア時代の遺跡デーラマンからの灰黒色土器や赤褐色土器の完形品を多数所蔵し、そのなかには中国の黒陶と類似するものもあり、学界の注目を受けている。
- (3) 骨角器。数は少ないが、錐、針、篋等がある。
- (4) 銅製品。主として前記のデーラマンから出土した数十本の銅剣、銅鏃、銅矛などの利器の外に、鏡、轡、皿、鉢、釧、指輪、安全ピン、胸当、針、髪飾のピン、動物像などがある。
- (5) 鉄製品。デーラマンの古墓出土の鉄剣、鉄刀子、鉄矛が多数ある。
- (6) 金銀製品。金製帯、金製装身具（垂飾・首飾用の玉類）などがある。
- (7) ガラス製品。ガラス瓶、ガラス玉等。
- (8) 玉類。瑪瑙製玉、トルコ玉など、石質の種類は少ないが、数は多い。
- (9) 建造物類。ドウラ・ユーロポスの騎馬人物のスタッコ、同じく壁画断片、パルミラの建築装飾断片、ペルセポリスなどの建築装飾品断片などがある。
- (10) その他。粘土板文書、土製釘、印章類、形象土器、イスラム陶器など多数所蔵している。

V 東洋学文献センター

本文献センターは、東洋学に関する文献・情報を収集し、国内外の研究者に対し、各種のドキュメンテーション・サービスをおこなうことにより、アジア研究の格段の発展を期するものとして、昭和41年度に本研究所に設置された。発足以来、以下の各項の諸事業にとりくんできた。

1. 基本資料の収集

昭和41年から3カ年計画で、近・現代中国、朝鮮刊行物等若干の資料収集と整理を進め、一応所期の目的を達成したのち、引き続き、次の三種類の文献につき、その収集に努めている。

- (1) 前近代中国関係文献
- (2) 近現代中国関係文献
- (3) 近現代朝鮮関係文献

2. 『東洋文化研究所漢籍分類目録』の編纂、刊行

昭和42年以来、本研究所漢籍分類目録の編纂事業を推進し、昭和47年度に『本文篇』（A4版、1,174頁）、次いで昭和49年度に『索引篇』（A4版 書名索引352頁、人名索引446頁、検字表39頁、計837頁）を刊行した。

本目録は一研究所の蔵書目録たるにとどまらず、古籍・新書を共に含む中国文献のコレクション分類目録として利用価値がたかく需要が多いので、昭和56年に誤植・誤記を修正して合冊縮印版を刊行した。

V 東洋学文献センター

3. 『東洋学文献センター叢刊』の編纂、刊行

東洋学研究者のための書誌、資料等のドキュメンテーション活動として、昭和42年度以来、本叢刊を編纂、刊行し、昭和62年度までに、55輯（他にB5版の別輯15点）に達した。（*は在庫なし）

- *第1輯 東洋文化研究所東洋学文献センター 新収図書目録（昭和41年度） 1968
- *第2輯 清代地方劇資料集（一） 1968
- *第3輯 清代地方劇資料集（二） 1968
- *第4輯 周揚著訳論文・周揚批判文献目録 1969
- *第5輯 郁達夫資料 1969
- *第6輯 東洋文化研究所東洋学文献センター 新収図書目録（昭和42・43年度） 1970
- *第7輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇（上） 1970
- *第8輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇（中） 1970
- *第9輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇（下） 1970
- *第10輯 李大釗文献目録 1970
- *第11輯 明刊元雜劇西廂記目録 1970
- *第12輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇・編著者名索引 1970
- *第13輯 魯迅全集注釈索引 1971
- *第14輯 1930年代中国文芸雑誌（一） 1971
- *第15輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇（Ⅰ） 1972
- *第16輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇（Ⅱ） 1972
- *第17輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇（Ⅲ） 1972
- 第18輯 郁達夫資料補篇（上） 1973
- *第19輯 切韻殘卷諸本補正 1973
- *第20輯 目録学 1973
- 第21輯 花間集索引 1974

- 第22輯 郁達夫資料補篇（下） 1974
- *第23輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（一） 1975
- 第24輯 江西蘇区文学運動資料集 1976
- *第25輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（二） 1976
- 第26輯 民国以来人名字号別名索引 1977
- 第27輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事総目（一） 1978
- 第28輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（三） 1978
- 第29輯 中国左翼文芸理論における翻訳・引用文献目録 1978
- 第30輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（四） 1979
- 第31輯 儀礼疏攷正（上） 1979
- 第32輯 儀礼疏攷正（下） 1979
- 第33輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（五） 1980
- 第34輯 小説月報（1920-1931）総目録 1980
- 第35輯 コミンテルン定期刊行物中国関係論説・記事索引 1981
- 第36輯 魯迅文言語彙索引 1981
- 第37輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事総目（二） 1981
- 第38輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事総目（三） 1982
- 第39輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（六） 1983
- *第40輯 東洋文化研究所所蔵 中国土地文書目録・解説（上） 1983
- 第41輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事総目（四） 1983
- 第42輯 校合本 大越史記全書（上） 1984
- 第43輯 『植民地雜誌』（Koloniaal Tijdschrift）所収論文目録 1984
- 第44輯 校合本 大越史記全書（中） 1985

V 東洋学文献センター

- 第45輯 江西蘇区紅色戲劇資料集 1985
- 第46輯 宋之問詩索引 1985
- 第47輯 校合本 大越史記全書（下） 1986
- *第48輯 東洋文化研究所所蔵 中国土地文書目録・解説（下） 1986
- *第49輯 許舒博士所輯 廣東宗族契據彙録（上） 1987
- 第50輯 沈佺期詩索引 1987
- 第51輯 中華人民共和國・朝鮮民主主義人民共和國 職官歴任表 1987
- 第52輯 韓国政治エリート研究資料——職位と略歴—— 1987
- 第53輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事
総目（五） 1988
- *第54輯 許舒博士所輯 廣東宗族契據彙録（下） 1988
- 第55輯 南岳思大禪師立誓願文索引——六朝隋唐宗教・思想資料—— 1988
- *別輯1 東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録書人名索引・京都大学
人文科学研究所漢籍分類目録書人名通檢合併 四角號碼檢字
表 1975
- 別輯2 海外所在中国絵画目録（アメリカ・カナダ編） 1977
- 別輯3 海外所在中国絵画目録（東南アジア・ヨーロッパ編） 1981
- 別輯4 日本所在中国絵画目録（寺院編） 1982
- 別輯5 LABRANG 李安宅の調査報告 1982
- 別輯6 日本所在中国絵画目録（博物館編） 1982
- 別輯7 日本所在中国絵画目録（個人蒐集編） 1983
- 別輯8 中国經濟関係雜誌記事総目録（一）——『中外經濟周刊』『經
濟半月刊』『工商半月刊』—— 1983
- 別輯9 孟郊詩索引（上） 1984
- 別輯10 孟郊詩索引（下） 1984
- 別輯11 中国經濟関係雜誌記事総目録（二）——『國際貿易導報』——

1985

- 別輯12 中国経済関係雑誌記事総目録（三）——『中行月刊』——1985
別輯13 『内務行政雑誌』（A Catalogue of the Articles in Tijdschrift voor het Binnenlandsch Bestuur）所収論文・記事目録 1985
別輯14 中国経済関係雑誌記事総目録（四）——『銀行周報』——
（上）1987
別輯15 春秋晋国『侯馬盟書』字体通覧——山西省出土文字資料——1988

4. 「センター通信」の編集、刊行

センターの活動を広く利用者に知らせるとともに、利用者の意見を載せる場として、「センター通信」（年1～2回、不定期）を編集、刊行し、昭和63年3月現在、第28号に達している。

5. 国内漢籍所在調査

全国漢籍総合目録作成の準備作業として、各地に未整理のまま散在する漢籍の所在を調査し、カードを作る仕事を昭和46年度の予備調査開始以来継続推進してきた。現在、八戸市立図書館・長崎大学附属図書館経済学部分館・熊本大学附属図書館落合文庫・新潟県立新潟図書館・新発田市立図書館・愛媛大学附属図書館の所蔵漢籍について分類目録を作成し、漢籍所在調査報告書計4冊を刊行したほか、宮城県立図書館・千葉県立中央図書館・新潟大学附属図書館・高知大学附属図書館等数機関の所在調査をおこなった。

6. 資料の収集

昭和50年度以来の継続事業として、当研究所未収の漢籍で他機関が所蔵するものをマイクロフィルムにより、収集している。

昭和56年度から、清末・民国初年間に刊行された新聞・雑誌の影印本類を収集し、閲覧に供している。

V 東洋学文献センター

また昭和62年度にはダイバー博士所蔵アラビア語写本蒐書を「大型コレクション」として購入した。目下その目録の公刊について検討している。

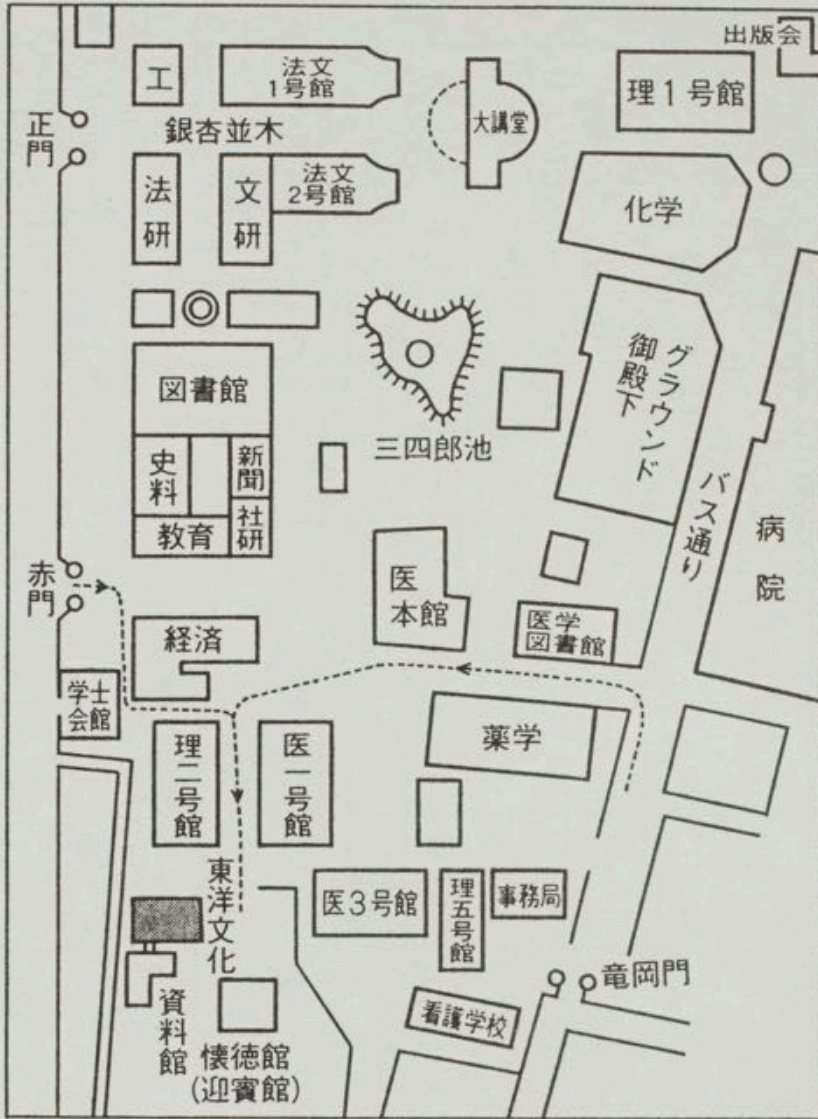
7. 漢籍担当職員講習会および漢籍整理長期研修

昭和47年から全国各地の漢籍担当職員に対し、文部省と共催で漢籍目録実務の講習を実施し、56年度までに計10回、受講者は105機関、のべ224人に達し終了した。

なお昭和55年度からは、諸大学図書館の漢籍整理担当職員に対して、講義と実習の両面にわたる個別指導を行ない、漢籍整理の専門知識と技能の向上をめざす長期研修を実施し、62年度までに14機関24名の受講者があった。

8. 朝鮮関係図書所在調査

東洋学文献センター叢刊の一編として昭和45年—47年に「朝鮮研究文献目録」単行書篇、論文・記事篇を刊行したが、これは、所収文献の所在目録ではなかったため、当目録の利用者から所在についての問い合わせがあっても、必ずしも、センターとして常に対応し得なかった。こうしたことから朝鮮関係図書の全国的な所在調査及び総合目録の作成は、国内外の研究者から強く要望されているので、従来の漢籍所在調査と並んで、61年度より、新規事業として、標記の調査をおこなっている。



東京大学東洋文化研究所

〒113 東京都文京区本郷7-3-1

電話 (03) 812-2111 内線 5830, 5831